

(様式例)

平成29年度 自己評価・学校関係者評価（高等部 本校）報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号 113

自己評価

学校教育目標	○いろいろな人と関わり、地域で豊かに生活する力を育てる。 ・生き生きと自分を表現できる力を育てる。 ・健康な心と体を育てる。 ・主体的に生きる力と社会の一員として働く意欲を育てる。
評価する領域・分野	・進路指導 ・生徒指導
現状及びアンケートの結果分析等	・家庭との連携、プライバシー保護や会計処理への高等部職員の取組の評価が高い。 ・進路の情報提供、授業内容や進度については他に比べて評価が下がる。 ・交通事故の件数が多い。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・積極的な生徒の状況の把握と職員間で情報共有をして連携をとり、安心・安全な教育環境作りをする。 ・進路の情報提供と連携を密にする。
重点目標を達成するための校内組織体制	・生徒指導委員会、いじめ問題対策委員会 ・進路指導委員会
目標の達成に必要な具体的な取組	・教育相談週間の実施、通学路チェック、自転車点検、交通安全教室、警察講話などの実施 ・校内作業実習作業、企業内作業学習、就業体験、職場実習の実施、保護者説明会など。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・いじめの認知件数と事後指導、支援の実施状況 ・交通事故の件数 ・実習先からの評価票、進路実現の成果
取組状況・実践内容等	・教育相談週間、生徒の悩み（交友関係、進路、家庭生活）の把握、自力通学生に対する交通安全教育、気象状況等に応じた安全確保等の指導。 ・進路実習時の付き添いや巡回指導による取組状況の把握。 ・進路説明会など保護者への情報提供と連携を密にする。
評価の視点	評価
①生徒の交友関係の改善度	A ② B C D
②交通事故件数の増減	① A B C D
③進路実現の状況	A ② B C D
成果・課題	総合評価
○予防的かつ、きめ細かな指導体制を構築する。 ▲職員間の連携のみならず、文書やすぐメール、必要に応じた電話連絡等により家庭との連携をより密にする。案内文書の配付時期や回収時期を十分配慮する。	A ② B C D
来年度に向けての改善方策案	・きめ細かな指導体制を構築する。 ・家庭との連携をより密にする。

学校関係者評価（平成30年2月5日実施）

意見・要望・評価等	・保護者の評価が高い。教師が頑張っている。 ・日々の連携が大事である。
-----------	--